

看護の統合と実践

■構築の考え方

看護の統合と実践では、看護が実践される多様な場において、チームや組織における看護師の役割を理解するとともに、多職種と連携・協働しながら看護を提供する基礎的能力を学ぶ内容とした。科目は、「医療安全」、「災害・国際看護」、「看護管理」、「統合看護技術演習」で構成した。

「医療安全」ではヒューマンエラーとシステム管理の視点を学習する。看護師は診療の補助、療養上の世話と、他の医療職よりもはるかに多様な業務を担当する。とくに急性期医療の現場では、医療の進歩で診療の補助はますます高度化・複雑化し、療養上の世話においても、患者の高齢化で一層繊細な気遣いが求められていることから、安全な医療・看護の提供の基礎を学ぶ内容とした。学習内容の関連を考慮し進度は2年次に設定する。できるだけ臨床実践と近い状況下での学習をねらいとし2年次後期の臨地実習と並行する進度をとり、ヒヤリハット体験から起こった事実を正しくレビューできる能力を基礎教育で学習できる内容とした。

「災害・国際看護」では、災害看護を実践できる基礎的能力を身につけ、諸外国における保健・医療・福祉の課題を学習する。近年、洪水や土砂災害の頻度や規模が拡大し、被害も増大しているなか、看護職者は人々の健康にかかわる専門職として役割を発揮していくことが求められている。グローバル化が進んでいる現在、各国のできごとは相互に影響を及ぼし合う状況にあり、諸外国との協力をはじめとした国際看護活動を考察することを期待している。世界全体に目を向け、多くの既習の知識を統合する看護実践が求められる為、進度は3年次に設定する。

「看護管理」では、チーム医療における看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップの発揮や多職種との連携・協働を学習する。看護管理は、新しいヘルスケアシステムを創造し、チームや組織、システムを動かしていく活動であり、活動の場は病院のみならず地域の保健・医療・福祉の場へと拡大している。そして、管理者だけでなく看護実践者がよりよい看護を提供するため資源の有効利用とそのしくみを学ぶ内容とした。

「統合看護技術演習」は横断的な科目立てとして、1年次は基本技術に対する実践力の強化、2年次は対象の状態を総合的に捉えた実践力の強化、3年次は臨床に近い設定での実践力強化のための科目とする。